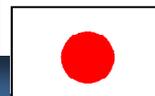


# THE IEC TIMES

Special Edition:

Report on Summer Programme, MAHOROBA!

JULY 9—JULY 19, 2017



サマープログラム第一弾「MAHOROBA」(英語)に12名の留学生が参加!

この夏、国際交流センターでは二つのサマープログラムを実施しました。第一弾は、サマープログラム「MAHOROBA」を2017年7月9日から19日にかけて実施しました。海外協定大学である、台湾の東海大学から4名、ベトナムのハノイ外国語大学から4名、ベルギーのルーヴェン・カトリック大学から4名の計12名が参加し、奈良で日本文化を体験し、奈良における“Integration”について学びました。



## Schedule

- Workshop: Design Thinking (7/11)
- 興福寺見学 (7/12)
- ならまち見学 (7/12)
- 能楽体験 (7/12)
- UNWTO訪問 (7/13)
- 東大寺見学 (7/13)
- ホームステイ体験 (7/15-16)
- 明日香村へフィールドトリップ (7/17)
- 奈良の文化、歴史についての講義 (7/10-14)
- 奈良女生との交流 (7/10-18)



↑ 歓迎会の様子。

奈良女子大学の学生とも交流を深めました。

第一弾の「MAHOROBA」プログラムは、全プログラムを英語で実施しました。2017年度のテーマは、“Integration”、古来シルクロードの時代より現在に至るまで、奈良という都市がどのようにして外国人を受け入れ、現地の日本人との「統合」を図ってきたのかを学ぶことを目的として実施しました。

講義では、奈良の歴史や観光産業、日本文学における奈良など、各分野の専門の先生方から興味深い内容の講義を受けました。学外では、東大寺・興福寺・ならまちなど、奈良が有する遺産の数々を巡りました。また、渡来人との関連が深い場所である明日香村へのフィールドトリップを通して、「外国人」と「日本人」について学びを深めました。

奈良女子大学の学生とも、様々なアクティビティを通して、親睦を深めました。カラオケやブリクラなど、日本の若者の文化を共に経験し、留学生だけでなく、奈良女子大学の学生にとっても、国際交流の貴重な機会となりました。

能楽部「観世会」のみなさんには、能楽の説明、デモンストレーションや、扇の使い方や歩き方など作法の指導をしていただき、奈良に縁の深い能楽を直に体験することができました。



↑ 参加メンバーたち。和気あいあいとした雰囲気の中で、国を超えた友情を育てていました。

## 第一弾MAHOROBAプログラムの様子をご紹介



### 奈良の遺産を見学

東大寺、興福寺、ならまちの見学をしました。東大寺では、大仏の大きさに驚嘆し、南大門の金剛力士像を熱心に見学していました。興福寺では、特別に、中金堂の建築現場に入る許可をいただき、屋根を間近で見るといふ貴重な機会をいただきました。ならまちでは、奈良の古い街並みの美しさを見学し、また、多くの家の軒下に吊るされた「身代わり申」に興味深そうに見ていました。

<留学生の感想>

This is especially interesting because we could see historical sites, which were so beautiful. Todaiji-temple is so breath taking with its sophisticated architecture.

### 国連世界観光機関駐日事務所を訪問

国連世界観光機関駐日事務所を訪れ、持続可能で責任ある観光を促進するための取り組みについて講義を受けました。その後、各国ごとにグループを作り、それぞれの国の観光名所や訪れるべき場所、するべきことなどを、各グループが観光大使に扮して発表し合いました。参加者たち全員が、それぞれの国に対する理解を深める素晴らしい機会となりました。

### ファイナルプレゼンテーション

今回のプログラムの最後を飾るプレゼンテーションでは、「プロジェクト奈良」と題し、奈良を実際に観光する中で、不便だと感じたこと、改善すべき問題を取り上げ、プログラムの中で開講されたワークショップ「Design Thinking」で学んだことを活かしながら、その解決策をデザインしました。留学生自身が、観光客としての鋭い目線から、奈良の抱える問題を提起し、その解決策を実にユニークな方法で提案していました。例えば、若者限定のパーティーを開催すること、YouTubeで奈良の情報を発信できるようなチャンネルを作ること、行きたい場所へガイドをしてくれる「たまごろう」というロボットを作ること、など、様々な提案があり、それに対して活発な意見

### 明日香村フィールドトリップ

事前に、明日香村についてグループごとに調べをしました。iPadを使って調査した内容をホワイトボードにまとめてクラス全体で共有しました。フィールドトリップでは、黒塚古墳やキトラ古墳など、日本の古い歴史を知るのに重要な役割を果たす古墳群の見学をし、また大神神社、石舞台、飛鳥寺の見学もしました。生徒たちは、ガイドの丁寧な説明に熱心に耳を傾けながら、日本のはじまりと言われる場所で多くのことを学習しました。特に、大神神社のシンボルである大鳥居の大きさに感動したり、石舞台に使われている何十トンもの巨石に見入ったり、そして明日香村の緑に囲まれたのどかな風景を楽しんでいる姿が



←石舞台

↓大神神社にて



<留学生の感想>

It was really traditional and quiet place and full of history. I like it very much!



### 留学生の声

- I had a great time and learned a lot!
- All activities are well-designed and worth attending.
- A great programme, I definitely want to return to Nara!
- Now I know how much this place has to offer.
- What I really like was the homestay experience!
- The NWU students are really nice and fun to talk to.

### ホームステイ体験

7月15日(土)~16日(日)にかけてホームステイ体験をしました。ホストファミリーのみなさんが温かくもてなしてくれ、留学生たちは皆、非常に楽しく有意義な時間を過ごせました。法隆寺や高野山などの観光地に連れて行ってもらったり、一緒に料理をしたりして交流を深め、「帰りたくなかった」「もっと長く一緒に過ごしたかった!来年はぜひ日程を長くしてください」という声が聞かれました。ホストファミリーの皆様、本当にありがとうございました。

### 留学生からホストファミリーへ

- I didn't expect such warm and welcoming people to take care of me. They have good hearts and made my weekend an unforgettable one!
- Very special and unforgettable for me. Thank so so so much to them to receive me and share a lot of fun with me.
- It was really interesting and they were all friendly and nice. I enjoyed it a lot.

# 国際交流センター通信 特別版

## サマープログラム「まほろば」(日本語)の様子をご紹介!

### 2017年7月28日(金)～8月9日(水)

サマープログラム第二弾「まほろば」を実施しました。海外協定校である東海大学(台湾)から2名、東呉大学(台湾)から4名、ハノイ外国語大学(ベトナム)から2名、ハノイ大学(ベトナム)から1名、ルーヴェン・カトリック大学(ベルギー)から2名、トリアー大学(ドイツ)から1名の計6大学12名の留学生が奈良を訪れ、日本の歴史・文化・伝統を学びました!



↑川上村でのカヤック体験の様子。

第二弾の「まほろば」プログラムは、日本語を学んでいる生徒たちを対象とし、全行程を日本語で実施しました。留学生たちは流暢な日本語を操り、訪れる先々で耳にする日本語の説明を、しっかりと理解していました。仏教や日本の歴史などの説明は、難しい単語も多かったのですが、分からない単語は質問をしていて、学ぼうとする積極的な姿勢がうかがえました。

今回のプログラムでは、奈良と日本の歴史や自然はもちろんのこと、その地域を盛り上げ、支えている「人」や「工夫・努力」について学ぶ機会が多くありました。例えば、川上村へのフィールドトリップや、東大寺・ならまち見学の際のガイドの方から、そういった話を多く聞くことができました。留学生たちが日本語に精通しているということも手伝って、表面的な知識ではなく、日本文化に根ざす、人の想いや苦労、工夫、努力などを直に目で見て肌で触れて体感することができました。

台風の影響で、後半のプログラムのいくつかをキャンセルせざるを得なくなり、宿舎で一日待機しなければならなくなりました。予定していたアクティビティができなかったのはとても残念でしたが、その代わりに、宿舎のリビングにスクリーンを立て日本のアニメを鑑賞しました。みんなで集まって映画を観ながらご飯を食べ、たくさんのお話をする時間を持つことができ、予定外のアクシデントもまた、良い思い出になったようです。

### プログラム内容

- ・東大寺見学(8/1)
- ・もちいどの商店街見学(8/2)
- ・川上村へフィールドトリップ(8/3)
- ・奈良女生との交流授業(8/4)
- ・ホームステイ体験(8/5-6)
- ・燈花会見学(8/6)
- ・組み紐・トンボ玉体験(8/6)
- ・講義：奈良の歴史・観光・街並みについて(7/31-8/4)



←講義の様子。活発な意見交換がなされました。

↓最終日に修了証を持って記念撮影。



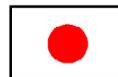
### 留学生の感想

- This was a wonderful experience and I am very happy I could join the programme.
- The trip was fun and everybody was friendly. I had a chance to experience many things in Japan in general and in Nara.
- 帰りたくないですー！来てよかったと思います！
- このサマープログラムに参加させていただいてありがとうございます！また、困っていたときに助けてくださって、ありがたかったです。

奈良女子大学 国際交流センター  
NEWS LETTER特別版 2017年10月発行  
〒630-8506 奈良市北魚屋東町  
TEL: 0742-20-3736 Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp



## 第二弾まほろばプログラムの様子をご紹介



## 川上村フィールドトリップ

訪問前日に、「吉野川」「川上宣言」「原生林」「ダム」などキーワードを手掛かりに、グループごとに下調べと発表をしました。訪問当日は、まず「森と水の源流館」を見学し、豊かな自然とそれを守る取り組みの歴史や、昔の生活用具などの詳しい解説を聞きました。次に「地域おこし協力隊」の体験プログラム「エコツアー」で大滝ダム内をカヌーで周り、最後に、温泉で体の疲れを癒し、大きなお風呂に一緒に入るといった文化体験を楽しみました。留学生たちはこの一日で、ガイドブックには載っていない川上村の豊かな自然と文化の魅力を直に体験することができ、水を大切にすることの意味と、そのための努力について学びました。

## &lt;留学生の感想&gt;

- 本当に楽しかったです。特にカヤック。ベルギーでしたことがありましたが、日本の自然は全然違います。
- いろいろなことを教えてもらって、いい経験でした。
- It was fun. Kayak and Onsen experience was spectacular.



↑川上村でのカヤック体験の様子

## ホームステイ体験

8月5日(土)~6日(日)にかけて、日本人家族の元でホームステイをし、日本の生活を体験しました。夕食の食卓に並ぶものや、お風呂、布団、畳の部屋など、日本では当たり前なのが、留学生の目には新鮮に映ったようです。各家庭で、普段の生活を共にし、浴衣を着せてもらって花火大会に行くなど、多くの日本文化を体感し、留学生は皆、目を輝かせて帰寮していました。全ての留学生がホームステイ体験に大満足し、ホストファミリーの皆さんに心から感謝していました。ご協力くださったご家庭の皆さん、本当にありがとうございました。

## &lt;ホストファミリーのみなさんへ&gt;

- とても貴重な体験でした！ずっと住みたかったです。
- サマープログラムの中で一番好きな体験でした。
- お母さんの料理はとてもおいしかったです。
- 日本の文化についてたくさん学びました。
- 遊びに連れて行ってってくれて、ありがとうございました！

## 留学生×奈良女生 交流会

奈良女子大学生と、様々なトピックについて話をしました。好きなアニメや映画・ドラマ・音楽・マンガについてや、恋愛事情についてなど、気楽なテーマでトークをし、違いを発見したり、同じ感覚を持っていることに気付いたりするきっかけとなりました。また、女性のライフスタイルとキャリアについて、グループで自由に議論もしました。出身国や育った環境の違いから、様々な意見が出ており、留学生にとっても奈良女生にとっても視野を広げるための良い時間になりました。

奈良女生と留学生は、プログラムの時間外でも、共に様々なアクティビティを計画し実行していました。イオンモールへのショッピングやカラオケ、プリクラ、食事会など、女子大生ならではの遊びを共有したり、組み紐・トンボ玉作り体験や燈花会見学など、奈良ならではのイベントを共に体験したりと、たくさんの時間を共に過ごしていました。双方にとって、国際交流のための有意義な時間であったと思います。

## &lt;留学生から奈良女生へのメッセージ&gt;

-I had a lot of fun with the NWU students. They are really nice and friendly.

-Amazing girls! They were all really sweet and understandable. Great they took time to spend time with us!



↑組み紐体験



←奈良女生との交流授業の様子

## 最終プレゼンテーション

## 「奈良を紹介するパンフレット作成」

「観光」「自然」「街並み」「家庭生活」など、各グループごとに与えられたテーマについて、奈良を紹介するためのパンフレットを作成しました。自らが奈良で経験したことをふまえた、非常に臨場感あふれるパンフレットが仕上がりました。自身の思い出としてはもちろん、帰国した後、家族・友人・大学の先生に奈良での経験を語る際に貴重な資料になることと思います。留学生たちが作成したパンフレットは、以下のURLからご覧いただけます。http://www.nara-wu.ac.jp/iec/int/ja/study/summer\_programme/mahoroba\_j/pdf/endingreport\_2017j.pdf